

勿来工業高等学校建築科OB会

<http://nakoso-ob.com/>

事務局だより

発行日 令和3年3月31日 第 27 号	発行所 いわき市石森二丁目1-13 事務局 千葉良司 TEL 0246-35-0631 FAX 0246-35-0632	発行者 勿来工業高等学校 建築科OB会 会長 千葉良司
----------------------------	--	--------------------------------------

No.	行事名	日付	場所	参加者
1	会計監査	2020年4月7日	千葉良司宅	3 名
2	幹事会	2020年10月21日	労働福祉会館	9 名
3	幹事会	2021年2月6日	労働福祉会館	4 名
4	設計コンパ審査会	2021年2月14日	労働福祉会館	3 名
5	設計コンパ表彰式	2021年2月26日	勿来工業高校	先生と生徒のみ

会計監査(4月)

令和2年4月5日(日) 9:00~10:00

福富大祐さん宅(いわき市鹿島町)

小林仁 5 福富大祐 7 千葉良司 10



例年より10日以上早い桜が開花し、既に満開を迎えたいわき市内のこの日、会計監査を行いました。今を取り巻く地球規模の環境は、新型コロナウイルスがパンデミックと設定され、中国武漢から発症したウイルスは、イタリアに多くの感染者と死者を生み、欧州全土に蔓延し、今は米国が最大の感染者の多い国となっています。日本

は、感染者が3000人を超え、東京は1日の感染者が100人を超える勢いとなっています。いわき市の今の感染者は14人の報道が確認されている状況ですが、ワクチンの開発は、1年先の見通しで、患者を受け入れる病床の不足や、医療者の疲弊と感染などで医療崩壊を招くと危惧されている現状であります。そんな社会情勢の中、監査を3人で行いました。マスクを着用して、飛沫感染を警戒した措置をしながら行いました。現金出納帳、仕訳表、領収書を照合し、決算書の数字を確認して、項目、数字等の内容は正確且つ適正であることを確認いたしました。監査が終了してから、今後の活動について話し合いが行われ、直近の幹事会は招集を掛け行うこととなりました。

*****幹事会(10月)*****

令和2年10月21日(水) 18:00~20:00

いわき市平労働福祉会館3階

小林 仁 5	福富大祐 7	千葉良司 10
渡辺 久 11	鈴木 忍 18	志賀正敏 20
四家康正 21	橋本浩喜 25	野木大輔 58





幹事会 会長挨拶 10回生 千葉良司

半年以上中断していたOB会活動が再開できたことを大変嬉しく思います。皆さん元気そうで何よりです。さて1月に発生した新型コロナウイルスは、私たちの生活を一変させました。この10ヶ月間にコロナに関するいろいろな言葉（ソーシャルディスタンス・ロックダウン・ニューノマル・ウィズコロナなど）が生まれました。昔の映画では、「復活の日」や「感染列島」がリバイバルし世界中の人間が滅びてしまうという物語に現実を重ね合わせました。芸能界では志村けんさん、岡江久美子さんの訃報にショックと恐怖を抱き、まもなく小中高校が全国的に閉鎖され、子ども達の行き場がなく、平日の昼間に学校以外で姿を見かける様になりました。マスクは店頭から消え、復活したときは通常の10倍以上の価格で販売されるようになっていました。感染者数がどんどん増加し、手指消毒も日常化され、緊急事態宣言が発令されました。巣ごもり自粛により経済が回らなくなり、雇い止め、解雇が方々で実施され職

を失った方も多く現れました。毎日感染者数が発表され東京を中心に全国的に発生し、未だ止まりません。世界中でワクチンや治療薬の開発が激化しております。3密を避けろと警告され、その代替としてオンラインやリモートという言葉が常態化しました。ズームミーティングやチームズと言ったソフトによりモニター上で会議や飲み会が行われるようになりました。当初は短期的と思われたコロナ危機が数年あるいは10年単位で継続される事が想定される状況となりました。音楽家はコンサートが出来ず、映像を伝える世界ではロケが出来なくなり一人で居る時間、考える時間が増え、因果関係は分かりませんが三浦春馬、藤木孝、竹内結子が自殺しました。コロナ禍の生活に入って、悩み苦しんでいたことは間違いありません。最近ではコロナ禍が慢性化し、緩みを感じられ、政府はGoToキャンペーンで経済を活性化させようと国民をあおっております。最近のニュースでもフランスの1日の感染者数が3万を超えていることを聞きました。フランス人の2000人に1人が毎日感染していることとなります。まだまだコロナ危機は続きます。コロナが終息することを考えるのではなく、コロナと共に生きることを考えていかなければなりません。このような状況の

下、OB会活動の今後を考えていきたいと思ひます。

なお、今年度は春の幹事会も総会も行っておりません。総会資料は作成しましたがまだ皆さんには届いていませんでした。この機会にざっと目を通して承諾していただきたいと思ひます。また来年は役員改選の年でもあります。ご意見を伺いたいと思ひます。本日はよろしくお願ひいたします。

幹事会報告 千葉良司(記者)

今年度は総会が出来ない状態で、秋の幹事会が開催されました。春に幹事会を行う予定でしたが、コロナ禍の影響で会場が閉鎖に追い込まれ、それ以来総会も開催されず今日に至っております。本日は9人の幹事の方に集まっていただきました。今春卒業して福浜大一建設に就職した野木大輔さん(58回生)にも参加していただきました。

会館の会議室を使用するにあたっては、会館利用に係る取り扱いに承諾していただいた上での許可となりました。利用条件として、①マスク着用、②咳エチケット、③手指消毒、④間隔の確保、⑤換気、⑥利用者特定による名簿(氏名、性別、年齢、住所、連絡先)の記入、⑦飲食禁止、⑧発熱

者は退館、が記載され座る椅子の位置も指定されました。

この条件に沿って処理が済み幹事会が開催されました。四家事務局長の進行とレジユメに従って進められ会長の挨拶を済ませ準備した議題に入りました。今後來年の行事として、新年会、卒業設計コンペ関連、春の幹事会、総会についてどういう取り扱いをするかを検討いたしました。現在新型コロナウイルスの感染が日本を含めて世界中で増加している状況では、会食を伴う集まりは無理ではないかということになり、来年の幹事会のころまで様子を見るということで話が進みました。卒業設計コンペ関連については、学校側の指示に対応することになりました。なお卒業設計コンペ担当の14回生高原さんには、学校とのパイプ役として設計作品進捗状況の把握や審査日程、図面借受け段取りなどの連絡係りをお願いしたいと思ひます。また今年の卒業生を対象に行った「建築科OB会への質問」という卒業生アンケートを実施したところほぼ卒業生全員が悩みや心配を書いて提出していただきました。それに対してOB生の経験などを元に入会式で伝える予定でしたがコロナ禍で中止となり出来ませんでした。しかしまたこの卒業生アンケートを実施したく学校をお願いしたいと思ひます。

来年度は役員改選がありますが、総会が開催されなかった場合の役員改選は、凍結、留保、先送りとなります。年度毎の報告事項についてはコロナ禍が終息するまで待つこととし、今回の幹事会で検討した内容は、来年の2月6日に幹事会（新年会）を開いて再度確認となりました。

議題の検討が終わり、参加者のコロナ禍での生活など少しの時間情報交換を致しました。企業内では徐々に5, 6人の会食は行っているようですが、18回生の鈴木忍さんは、茨城県単身赴任から本社に戻るとき、慎重な処置をして感染していないことを確認して自宅に入ったようでした。

58回生の野木さんは、広野町火力発電所の倉庫新築工事に携わり、この日は仕事を早めに切り上げて参加していただきました。

5回生小林仁さんは、毎年建築科のクラス会をしているが、今年はコロナ禍の影響で中止になり、また同級生で柴崎勝男さんが今年亡くなり5回生卒業生48人中、物故者が10人になったようです。

7回生福富大祐さんのクラスは、地元の10人程で3密回避を守りながらの集まりがあったそうです。

25回生の橋本浩喜さんの職場は、郡山にも支店がありますが現在出張や移動や会食はしていないということでした。

コロナ禍によって巣籠もり需要で室内環境の利便性・快適性商品を扱う店舗と、ファッション・飲食などの屋外活動型の事業所では明暗が分かれたようです。私はオンラインで幹事会とか総会が出来る環境を立ち上げてはどうですか？との提案に賛同する人はいませんでした。四家事務局長は、今回の幹事会の為に消毒液と参加者分のマスクを自前で準備してくれました。

各人それぞれの情報を交換し、1時間半の幹事会が終了しお開きとなりました。幹事会後の懇親会は当然ですが予定にもなく行いませんでした。

*****幹事会(2月)*****			
令和3年2月6日(土) 17:00~19:00			
いわき市平労働福祉会館3階			
福富大祐	7	千葉良司	10
四家康正	21	橋本浩喜	25



幹事会 会長挨拶 10回生 千葉良司

本日はお忙しい中、またコロナ禍の中、OB会幹事会にお集まりいただきありがとうございます。昨年10月21日の幹事会以降、集まるのは3ヶ月半ぶりとなります。本来であれば本日の幹事会は、新年会を兼ねた宴席でのお集まりのはずでした。

しかし昨年1月から騒がれ続けている新型コロナウイルスの感染がまだまだ収まらず自粛生活を余儀なくされているのが現状であります。昨年1年間は、毎日新型コロナウイルスの感染のニュースで埋め尽くされました。それに伴い、学校休校、オリンピック延期、テレワークの普及、ワーケーションへの傾向など感染症に関する社会の変化のほか、アメリカ大統領選挙の世界的関心が最大の話題だった年でした。OB会は幹事会という小さな集まりで活動することが精いっぱい状況です。本日は主に卒業設計コンペについての話し合いになるかと思えます。先日、1月30日と31日の2日間、マルト中岡店で卒業設計展が開催されました。私も拝見して参り全員の作品を写真に収め、その日から図面に描かれた内容を吟味し、設計主旨はすべて読み、電子文字にして作りました。審査会が厳選に、そして偏ることなく平等に行われることを期待して資料として準備しました。審査委員

になられる方は、審査会前の予備知識を準備の上参加していただくと理想的な審査ができると思います。また今後の予定についての検討も行いたいと思います。本日は会食がない、会合だけとなりますが宜しく願いいたします。

幹事会報告 千葉良司(記者)

土曜日で午後5時から開催ということで、幹事の皆さんの都合がまちまちで、4名の参加となった幹事会でした。会長の挨拶の後、四家事務局長の進行で幹事会の議題を話し合いました。議題の一つ目は、卒業生設計コンペの審査会の日程と時間について話し合いました。卒業生は40名全員が作品を提出しています。卒業設計を提出することが卒業の条件の一つでもあり、漏れた生徒はいませんでした。審査員と審査会場の都合により、最短で2月14日9時からの審査会が決定しました。入選者が決定すると、表彰式の準備をして学校へ伺い、OB会が表彰式を行い、OB会入会式を行うのが通例ですが、コロナ禍の影響によりOB会参加はなしで学校側だけとなるようです。2月26日に行われる表彰式に向けての準備品の確認を行いました。3月1日は高校の卒業式であります。感染防止のため来賓の招待は、極力少なめの参加

を計画しているようです。OB会の会則にある会費については、40名分預かりました。二つ目の議題として来年度の活動計画についての話し合いを行いました。当然コロナ下という社会状況を考えての活動と言うこととなります。4月末の幹事会、6月第4土曜日の総会は、現段階では実現が無理な状況です。昨年もコロナ禍の影響で総会が開催されず、事業報告と決算報告ができない状態です。今年もできないことを考えると、昨年と今年の2年分の、報告書を作成して総会時期に幹事の皆さんへ郵送するという事になりました。2年分の資料については、OB会役員会を行って承認していただきます。2月の検討で総会が6月のため、4ヶ月の時間がありますが、ワクチンの普及が本格的にいつ接種できるかわからない状況のため、最悪の場合の、日程検討です。状況が好転に傾けば対応したいと思います。

OB会は、毎年選考委員会を発足させ、卒業設計作品展が終了すると、作品をお借りして、委員会で優秀作品を選出いたします。今年は、色々な状況により委員が思うように集まらず3人での選考会となりました。設計主旨は図面から拾い読みをして電子文字に移し替えました。先日の幹事会（2月6日）にその設計主旨を出席者に渡し事前に読んでおいていただきました。それを元に当日3人で行った審査の結果、10人を選びました。建築で世界を変えろという抽象的な課題で、結果として3年生は、色々な建物を考えました。その中で最優秀賞・優秀賞について相当の議論を尽くした末に、以下の3作品に絞りトップを決定いたしました。



① 八巻 あずさ	① 田子 遥輝	① 飛田 佑雅
② 湯本一	② 錦	② 泉
③ 息	③ 3+1	③ Community Library
④ 水族館・資料館	④ 公共施設・一般住宅	④ 図書館
⑤ RC造2階建て	⑤ 木造平家建て	⑤ SRC造5階建て

①氏名 ②出身中学 ③題名 ④建物用途 ⑤構造・階層

*****設計コンペ審査会(2月)*****		
令和3年2月14日(日) 9:00~11:00		
いわき市平労働福祉会館3階		
福富大祐 7	千葉良司 10	四家康正 21



・水族館・資料館を設計した八巻あずささんの「息」は、研究したいテーマを追求し、たくさんの言葉で伝えようとした努力が見え、アイデアに満ちあふれていました。全体的な図面の印象は、絵やイラスト

という評価については、常に描くという環境がおありのようです。図面の評価としては、線や色付けにメリハリが不足し、若干弱さを感じます。ただ設計主旨の学習力や説得力に文章の勢いがあり、委員の心を動かしました。将来性に期待できる力量があると判断しトップとしました。

・「3+1」を設計した田子遥輝さんは、4つの建物が現実的に建築が可能な設計をされています。まとまりがあり、設計を業務としている側が、実力を認める作品で完成度が高くデザイン性にも優れていました。

・「Community Library」を設計した飛田侑雅さんは、デザイン的には、耐震補強の建物の印象をうけます。しかし白黒2色で表現し、線に力強さがあり、インパクトのある印象を与えてくれました。このような設計図の表現ができれば、施主や施工者にわかりやすく工事の進みも楽になるでしょう。

この中から「複数最優秀賞を出しますか」とまで決定に難儀しましたが、最優秀賞は1つという理念に基づき、審査結果となりました。

*****設計コンペ表彰式(2月)*****
令和3年2月26日(金) 12:00~13:00
勿来工業高校建築科教室
コロナ禍対策により学校関係者のみ



表彰状

図書カード



賞状ケース

作品収録冊子

2月14日に行った卒業設計作品の入選者への表彰式は、コロナ禍で学校側の要望によりOB会は参加せず、学校で先生が生徒たちへ行いました。審査会終了後、表彰式に必要な物の準備を行い、2月26日の表彰式に間に合うように作成し、2月22日に学校へ届けることができました。上記の写真でお分かりのように、表彰状として最優秀賞、優秀賞、佳作、特別賞を10人分を作成し、入選者への図書カード及び賞状ケースを準備しました。その他、参加者全員へ40名の卒業設計作品を収録した96ページ分の冊子を作成し、当日の食事(弁当と飲物)と一緒に準備いたしました。なお当日OB会が参加しませんが、卒

業生への会長からの挨拶を冊子に掲載したのでその内容を紹介します。

ご挨拶　　OB会会長　千葉良司

卒業される皆さん、ご卒業誠におめでとうございます。令和二年度は、世界的に経験のない出来事が起こりました。1年経過しても未だに終息が見えない新型コロナウイルスで、世界経済の困窮、医療機関の逼迫、そして雇用状況は不安定さを抱えました。そんな中の高校生活最後の1年間を過ごしてこられた皆さん、本当にご苦労様でした。高校生活は一学期の途中から日常を取り戻したと聞いております。進路については、建築科を卒業される皆さんは、100%決定していることを知り安心いたしました。私たち建築科OB会は、皆さんの入会を歓迎いたします。

さて話を工業高校の価値という事について考えてみたいと思います。目まぐるしく変わっていく社会の中で、人工知能（AI）の発達など不確実な雇用環境の中、普通科から大学進学という道が正当化を迷う人も多いご時世であります。工業高校へ入学されたきっかけは様々でしょうが、卒業する頃になると変化が見えてきます。工業高校の変化の秘密は、専門科が誇る実習という教育にあるようです。実習を通じて自律を学び、基礎を教わった後、実際の作業

を自身が進めていかなければならない。目指すのは、「PDCA」。自ら計画(Plan)を立て、実行(Do)し、検証(Check)して改善(Action)するという理念です。3年間の集大成となる卒業設計として「建築で世界を変える～夢のある空間の創造～」の製作に当たっては、まさに「PDCA」の教育に導かれ、皆さんがそれぞれの思いで完成に辿り着きました。作品の完成について自信を持って社会に仲間入りできると自覚して良いと思います。このような教育理念で培った3年間の生活は、社会が皆さんを求めようになります。自動車やIT（情報技術）、建設などの大手企業の人事担当者が、卒業生獲得に列をなすようです。就職率100%、正規雇用率もほぼ100%。学業に目覚めた人は大学を目指します。

コロナ禍の中、大水害や2月13日午後11時8分に起こった震度6強という大きな地震（ちょうど10年前の東日本大震災の余震）など社会を妨げる色々な災害が起こるご時世ですがどんなことにも対応していかなければなりません。皆さんが目指そうとする将来に向けてつき進んでいってください。コロナ禍の状況で決まった進路を無駄にせず、大学あるいは社会に無事仲間入りできることを祈願いたしまして、お祝いの挨拶とさせていただきます。